

## 春合宿：八ヶ岳 硫黄岳と赤岳

- ◆日程 2018年5月5日(土)～6日(日)  
◆メンバー L：須田(健)、日比野、富田、大山



### (春合宿総括)

当初の計画では春合宿は東北の飯豊山にいく予定だったが悪天のため中止せざるを得なかった。GW終盤に天気が回復することを見込んで急遽代替案として八ヶ岳の計画を立てた。八ヶ岳ならば行き慣れているので急造の計画でも安心して行動できた。今冬の八ヶ岳は例年より積雪量が少なく、定着地とした行者小屋周辺はほとんど雪がなかった。気温も高く、初夏を思わせる様子であった。初日は行者にテントを設営してから硫黄岳をピストンし、2日目は赤岳に登った。雪があるのは樹林帯だけで、稜線に出たら雪がないのでアイゼンをはずすというかつて無い山行となった。重いザックを担いだのは行者小屋までだったが、初日の行動時間は長く、かなり体力を消耗した。硫黄岳・赤岳に登頂して素晴らしい展望を眺めることができ、何度経験しても飽きることの美しさである。

正直物足りなさが残る合宿となってしまったが、叶うことなら来春もう一度、飯豊山の計画を立て、東北の山々を縦走してみたいと思う。(記：須田)

### 5月5日(土) 天候：晴れ

前日の金曜日、八王子駅で待ち合わせし 20:34 発の新型あずさに乗って皆で茅野駅へ向かった。22:08 茅野駅下車。予定では茅野駅でステーションビバークであったが、思いのほか暖かったので茅野駅に泊まらないで一足先にタクシーで美濃戸口へ行き駐車場近辺の空きスペースにテントを張って寝た。

朝6時に美濃戸口を出発。美濃戸山荘まで1時間くらいほぼコースタイム通りで到着。美濃戸山荘で暖かいほうじ茶を無料で頂く。暖かいお茶が美味しく疲れを癒してくれた。

天気はほとんど初夏に近い陽気でアイゼンなど使用するところはほとんどなく行者小屋迄はアイゼン無しで到着した。行者小屋で今夜泊まる為、



テントを張り、不要な荷物は全てテントに残し、アイゼンを履いて本日の目標である硫黄岳へ向かう。歩き始め赤岳鉱泉近辺は緩やかな下りが続き歩き易かった。赤岳鉱泉に到着するとアイスキャンディーの上部は少し取り壊されていた。ここでもまた暖かいほうじ茶が無料で置いてあったのでまた頂く。ここからは暫く登りが続いたが、天気も良く眺めも良かった。前回冬合宿で登った時とは違い登り易い条件であった。頂上には明るい時間に到着した。風は強いが、前回冬合宿で登った時よりも暖かく眺めも非常に良かった。

夕方 16:00 頃明るいうちに行者小屋に辿り着いた。よその人が「テンがいる！」と教えてくれたが私は見つけることが出来なかった。大山さんは確認出来たようだ。まだ陽があったので

外のテーブルで須田さんに差し入れしていただいたゴールドキュウイ・つまみや日比野さんに差し入れしていただいたつまみなどを頂きビールを飲んだ。夕食は担当の日比野さんが用意していただいたフリーズドライのカレー、親子丼、アルファ米、わかめサラダなど美味しく頂いた。わかめサラダは水でもどして作るタイプで味も良く軽量化にも良くこれから夏の食材としては良いと思った。明日の赤岳に備えて早めに就寝。



(記：富田)

CT：美濃戸口 6:00 - 美濃戸山荘 7:10 - 行者小屋 11:00 - 赤岳鉱泉 11:30  
- 硫黄岳 14:10 - 行者小屋 16:20

### 5月6日(日) 天候：晴れ

4時起床。天気予報では暖くなる予定であるが、朝はまだ寒く、薄っすらと霜が降り、外に置いておいた水も僅かに凍っていた。それでもテントの中は暖かく、よく眠ることができた。出発予定は5時のため、早々に寝具を片付け朝食の用意をする。朝食は〇〇ちゃん製麺、トッピングはハムとかにかまである。寝起きでもすっと喉を通る麺類は食べやすいうえ、体も温まりよいメニューだと感じた。

身支度を整え5時24分出発、文三郎尾根から赤岳山頂を目指す。前日同様、樹林帯を抜けるまでは雪が残ると予想していたが、アイゼンは着けずに歩を進めた。しかし、早朝ということ



で雪が締まっており、非常に歩きづらい状況であったため、15分ほど歩いたところでアイゼンを装着した。この先の文三郎尾根は急登が続くため、良い判断だった。朝の締まった雪にはアイゼンがよく効き、快適に登ることができた。樹林帯を抜けると分岐までは階段交じりの更なる急登が続く。障害物が少ないため残雪が少なくなり、木製階段、金網状の階段、ざれた夏道の複合で非常に歩きづらい道をアイゼンで進む。6時50分ころ文三郎尾根を登りきり分岐に到着したところでアイゼンを外す。

しばし休憩を取り山頂を目指す。主稜線では風が強いと思っていたが幸いにも穏やかであった。ここからは雪も残っていないほぼ夏道であるが、山頂付近は赤い岩場となるため慎重に進む。朝早いこと、GW最終日ということか、他の登山者は少なくマイペースで進むことができ、ほどなく山頂に到着した。天気も非常によかったため、南アルプス、北アルプスの山々がよく見え、最高の眺望であった。北アルプスはまだまだ冬の様相に見えたため、八ヶ岳に雪が少なかったのが少し残念ではある。赤岳頂上小屋へ移動ししばし休憩をとる。昨日登頂した硫黄岳への稜線がきれいに見える。次回はこの稜線を縦走してみたいものである。

下山ルートも文三郎尾根を下る。分岐までは降りたところアイゼンをつける。雪山合宿の予定が想定外に雪が少なかったため、文三郎尾根の下りはピッケルを持っての歩行とした。階段の脇、樹林帯と滑落の心配は少ないルートではあるが、雪山気分を感じる…否、雪上歩行の練習として行者小屋まで下りて行った。テン場には数張のテントが残っていたが、GW最終日ということもあり、小屋も戸締りをしていた。我々も早々にテントを撤収し美濃戸口を目指した。予定通り下山できたので、八ヶ岳山荘で風呂に入り、バスで茅野駅へ向かう。駅窓口へ向かい指定席の空き状況を確認すると、「本日の指定席はすべて満席です」との回答。GWなので仕方がない。八王子までデッキで過ごすことにはなったが、天気にも恵まれた良い山行であった。

(記：大山)

CT：テント 5:24 - 赤岳 7:12 - 赤岳頂上小屋 7:23/7:43 - 赤岳 7:45  
 - 分岐 8:06/8:22 - 行者小屋 9:06/9:53 - 美濃戸山荘 11:41/11:55  
 - 美濃戸口 12:35

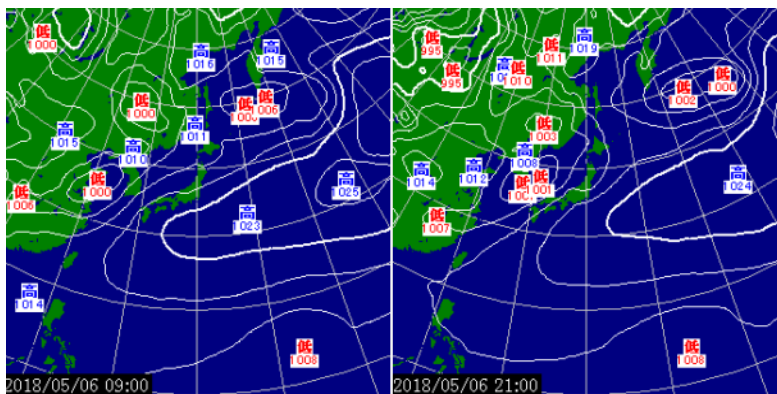
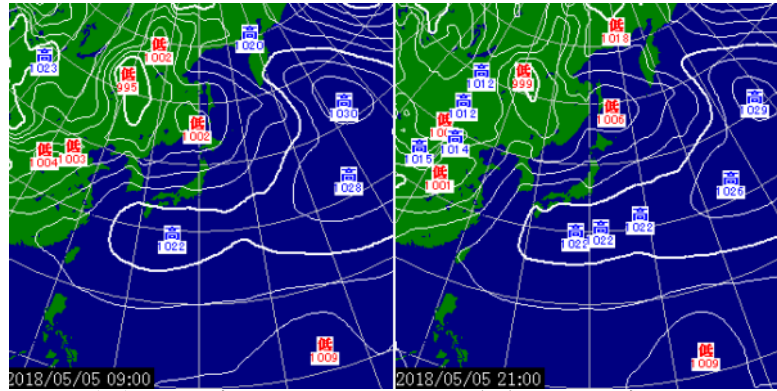
【食糧】

もともとは飯豊山縦走に行く予定だったので、軽量化をメインに計画を立てていた。フリーズドライと麺類だけでメニューを考えた。

5月5日(土) 夜
アルファ米、野菜と鶏肉のカレー(フリーズドライ)、親子丼(フリーズドライ)、牛とじ丼(フリーズドライ)、海藻サラダ、味噌汁(粉末)
5月6日(日) 朝
醤油ラーメン(カニカマ、ハム、味噌汁の具)

(食糧係 日比野)

【気象】



(気象係 富田)